



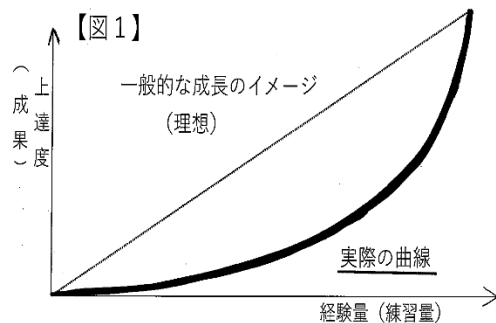
成長の一年に

副校長 吉田 直好

新年あけまして おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。令和6年が子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様、教職員、関わってくださっているすべての皆様にとってよい年となりますよう願っています。

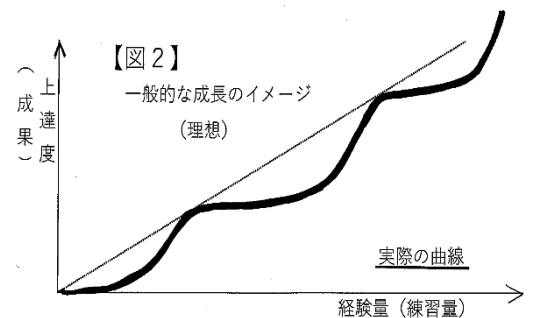


さて、今年の干支は甲辰です。「甲」には「草木などが成長していくことを表し、どんどん勢いを増していくこと」、「辰」には「草木の形が整った様子」という意味があるそうです。「甲辰」には「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」「努力すれば実りやすくなっていく年」とされています。善部小の児童が目標をもち、地道な努力を積み重ねて、ますます成長していく、そのような「成長の一年」にしたいですね。



学校現場にいと、児童の大きな成長を感じる瞬間に立ち会うことがあります。何とも言えない、大きな喜びを感じます。それらは、いわゆるテストの点数だけでなく、日常のふとした言動、運動の様子などからも見取ることができます。その瞬間を感じ取ることは、教職員冥利を感じることができる瞬間でもあります。

「学習曲線」という言葉をご存じでしょうか。経験量を横軸、上達度（成果）を縦軸として、その関係性をグラフで表したものです（図1）。我々はい、「正比例の成長」を期待してしまうものですが、現実なかなかそうではありません。地道なコツコツとした努力や積み重ねがなかなか成果として形に表れない時期があります。しかし、ふとした時に大きく、ぐんと成長する時期が来ます。体感的には右図（図2）のように、何度も現れます。いわゆる「学力」、「粘り強さ」、「運動」、「友達との人間関係」等様々な場面で見られます。その、「ぐんと成長」するためにも地道な努力や積み重ねが大切です。善部小学校の児童が、大きく成長する一年となりますように。そのために、地道なコツコツとした努力や積み重ねを厭わず、己の成長に真摯に向き合いますように。



今年も保護者、地域の皆様のご理解ご協力をどうぞよろしくお願いたします。